

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名: グループホーム ま心

作成日: 平成 22 年 3 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No4 (3)	運営推進会議の活動は、交流が深まってきているが、ホームの問題や意見交換の時間が取られていない。	運営推進会議の中で行政や家族等からの意見をサービス向上に活かしていく。	運営推進会議での意見交換しながら、行政からの広報となるお知らせや、家族からのアイデアを聞きながら時間をとっていきたい。	12ヶ月
2	No6 (5)	玄関、フロア、勝手口と離苑等への防止にて、施錠がしてある。昼間の時間など、少なくしていく事へのケアの見直しをして行く。	玄関の施錠を含め、身体拘束しない取り組みの職員の認識確認と、ゆとり介護への目標。	人員増加への取り組み、個々のゆとり介護、精神面でのケアを重視していく。運営者への理解を求める。	12ヶ月
3	No33 (12)	終末期ケアに向けたケアへの取り組み。看取り加算は出来てないが	利用者、家族の思いや主治医との連携で職員の統一化を目指す。	超高齢者を含め、常に家族とのコミュニケーションを取りながら、満足が頂けるよう努力をして行く。	12ヶ月
4	No435 (13)	災害対策について、消防訓練も年に2回ほど、併設で行なわれているが、ホーム独自の避難訓練が出来ていない。	ホーム独自で、昼夜を想定した訓練が出来るよう職員の実践。	運営推進会議の中でも、地域や防災協力関係など、併設での協力を検討し訓練が出来るような計画を検討する。また、職員の火災報知機の手順、消火器の使用が確実に出来るよう勉強会を設ける。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。